

平成24年度事後評価総括表

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
災害防止	3	県営ため池等整備	上田市	しらいけ 下池	堤体工 L=36m 護岸工(置石工) L=298m 洪水吐工 L=31m 根継工(練積ブロック工)L=186m	7640万円	H16 H18	B	B	B	A	A	-	ため池決壊の危険が無く、かつ用水の安定供給ができ、所期の目的が達成された。また、周辺環境への影響も改善され、事業効果が十分に発揮されている。	農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。	農業用水の安定確保はもとより、災害を未然に防止する目的から、地域住民の評価は非常に高い。引き続き、農業面での安心安全に加え、農業用水以外の多面的機能や自然環境などに配慮した計画策定により、地域住民に親しまれる施設となるような事業推進を図ってきたい。	農政部	農地整備課
	4	山地治山(地域防災総合対策治山)	上田市	こくぞうさん 虚空蔵山	落石防護壁工9個432m 落石固定工 7,793㎡ 岩盤固定工 32m3 緑化工 1,819㎡ 谷止工 4個 本数調整伐 33ha	6億5622万9千円	H10 H18	B	C	B	A	A	-	山腹の落石対策、荒廃渓流の整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保が図れた。	山腹の落石対策や荒廃渓流の整備が図られる。	設置した施設の効果を継続させていくため、適切な維持管理が必要であるとともに、今後の計画にあたっては、景観への配慮も考慮した施設計画とする必要がある。	林務部	森林づくり推進課
	4	山地治山(復旧治山)	上松町	からさわ 空沢	山腹工 0.83ha 谷止工 4個	1億7123万円	H11 H18	B	C	B	A	A	-	崩壊地の復旧、荒廃渓流の整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保が図れた。	山腹崩壊地や荒廃渓流が安定し、一定の効果が認められる。	アンケートの結果、住民の認知度が低いことから、事業の実施に関して、受益者である地域住民へのPRの強化が必要である。		
	8	砂防	豊丘村	ひなた やま 日向山	砂防えん堤工 H=23.5m L=105m V=14,964m3	10億8695万9千円	H9 H18	B	C	B	A	A	-	「税金の使途として適切、及び「地域を守る重要な事業」と評価を受けている。保全対象は小学校・県道等の公共施設があり、避難所、避難路の安全確保に貢献している。	土石流に対する安全性の向上が図られ、一定の効果が認められる。	施設の設置により安全性は確保されているが、近年はゲリラ的豪雨も多く発生しており想定外の事態が発生することも予想されるため、避難方法や経路の確認、土砂災害への備え等、ソフト対策の充実を図るとともに、継続した土砂災害に対する啓発活動を行っていく必要がある。		
	11	地すべり対策	小谷村	おあみ 大綱	集水井工 8基 集排水ボーリング工 L=6,189m 横ボーリング工 L=1,510m 水路工(開渠・明暗渠) L=776m 暗渠工 L=280m 渓流保全工 L=400m	9億5700万円	H10 H18	B	B	A	A	A	-	アンケートの結果から地域の評価は高く、事業効果は高い。	地すべり活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	地域住民の意見・要望等を計画段階の早期に確認し、地域の安全、住民の安心がより向上するよう引き続き地すべり対策に努める。	建設部	砂防課
森林	14	急傾斜地崩壊対策等	高山村	まさきた 牧北	現場打吹付法砕工 L=430m A=7,300㎡	3億3300万円	H12 H18	B	B	A	A	A	-	人家を保全するための対策工事として地域住民に理解されており、アンケート結果からも必要性等の事業効果は高い。	事業完了後は斜面の変状は無く、一定の効果が認められる。	当箇所は地域住民が事業の必要性や重要性を認識し高い評価を得ているが、植生の選定については改善を望む声があったので、今後は地域に繁殖している植生の回復に向けた工法を導入するよう配慮していきたい。		
	34	水源地域等保安林整備	松本市	いりやまべ 入山辺	谷止工(鋼製他) 4個 床固工(木製他) 14個 山腹工 0.40ha 森林整備 180.74ha ほか	2億8693万5千円	H14 H18	B	A	B	B	A	-	荒廃渓流の安定を図るとともに、森林整備を実施したことにより、水源林の機能の向上と下流地域の安全・安心の確保が図られた。	荒廃地の復旧や森林整備により、水土保全機能の向上が図られ、事業の目的を達成している。	今後も、森林の荒廃状況や災害による山腹崩壊等に応じた対策事業を適切に実施する。特に施工後の森林の保育・構造物の維持管理において、異変等が生じたときの情報収集・伝達手段について、地域との協働を図る必要がある。そのため、事業実行段階において地域住民にその目的や方法を知ってもらい情報を共有する等、連携を密にしていける必要がある。	林務部	森林づくり推進課

平成24年度事後評価総括表

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等		
交通	38	道路改築(地方道)	上松町	(一)上松御岳線 小川	道路築造工 L=2,230m W=6.0(10.0)m	35億7400万円	H9 H18	B	C	A	A	B	-	一部区間を除き、幅員狭小、線形不良が解消され、円滑な交通と安全性の確保により、事業目的が達成されており、事業効果が高いと判断される。	交通の円滑化と安全性が確保され、事業の目的を達成している。	地域住民からは、事業計画区間内の未施工区間や先線の未改良区間についての改良要望が数多く挙がっているため、今後も引き続き計画段階からの住民参加を意識しながら、事業推進に努めたい。	建設部	道路建設課
	39	県営農道整備(基幹農道)	佐久市	大田	農道 L=778m W=7.0(5.5)m	5億8500万円	H9 H18	B	C	B	B	A	-	農道整備により、農産物物流通の効率化が図られ、事業の目的を達成している。	農産物輸送の効率化により、農業経営の安定が図られ、事業目的を達成している。	荷痛み防止、走行経費節減など効率的な農業経営、及び農村環境の改善に資する事業であり、引き続き整備を実施していく必要がある。	農政部	農地整備課
	41	雪寒対策道路	栄村	(一)秋山郷森宮のぼろ野原(停)線 白土	雪崩予防柵工 8基 L=60m	7363万2千円	H19 H20	B	C	B	A	A	-	アンケートの結果から地域の評価は高く、事業効果は高い。	施工区間における冬期交通の安全確保が図られ、事業の目的を達成している。	地域住民及び道路利用者の意見・要望等を計画段階の早期に確認し、利便性・安全性の向上が一層図られるよう引き続き雪寒対策に努める。小規模な雪崩が発生した場合は、除雪を早期に行い、利便性や安全性の向上に努めていく。	建設部	道路管理課
	44	交通安全施設等整備	安曇野市	(国)147号 梓橋	交差点改良工 L=120m	3億1300万円	H17 H20	B	B	B	A	A	-	安全で円滑な交通が確保され、地域の評価も高く、事業効果は高いと判断される。	歩行者の安全及び円滑な交通が確保され、事業の目的を達成している。	アンケート結果から、当事業の必要性、税金投入の妥当性、重要性等非常に評価が高いことがうかがえる。事業化にあたっては、地域の参画、役割分担、意向や優先順位等を勘案しながら、効果的な整備を検討していく必要がある。	建設部	道路管理課
	46	沿道環境改善	上田市	(国)152号 中丸子～腰越	排水性舗装工 L=2,603m W=5.8～8.4m A=18,773㎡	1億1700万円	H20 H22	B	B	A	A	A	-	事業の高い効果が認められる。	騒音等の沿道環境が改善され、事業の目的を達成している。	事業実施前と実施後の騒音データを公表するなど、事業効果のアピールを行う必要がある。		
食料	49	県営かんがい排水	伊那市	三峰川右岸	水路トンネル L=2,379m 開水路 L=3,923m 水路橋 1橋L=98m	12億2300万円	H6 H18	B	A	A	A	A	A	農業生産基盤の主要施設であるかんがい施設の施設更新を行うことにより、安定した用水の供給が図られ事業目的を達成している。	農業用水の安定供給が図られ、事業の目的を達成している。また、事業目的以外で地域へ貢献している。	昭和30年代から40年代にかけて多く造成された農業用水施設は耐用年数を経過し老朽化が著しいため、施設の補修・補強・更新を計画的、効率的に実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。	農政部	農地整備課
	54	県営中山間総合整備	阿南町 泰阜村	阿南泰阜	農業用排水水路 L=4.3km 農道 L=2.9km 農業集落道 L=7.0km ほ場整備 A=2.3ha 防災安全施設 16箇所 農村公園 2箇所 情報基盤施設整備1式	30億1800万円	H9 H18	B	B	A	A	A	B	農業基盤の整備により、安定した用水供給と農作業の省力化が図られた。また、定住環境の向上や地域の活性化にも貢献しており、事業の目的を達成している。	農業基盤の整備により、農作業の省力化や地域の活性化に貢献し、事業の目的を達成している。	地理・地形的条件が厳しい中山間地域の農業農村の維持と振興を図るためには、総合的な整備が不可欠である。また、アンケートにおいても事業に対する評価が高く、このような事業の継続を求める意見が多く、今後も中山間地域における総合整備の取り組みを継続的に実施していく必要がある。	農政部	農地整備課